

# エンゲル係数の上昇と飲食料品の消費税減税の行方

主任研究員 古江晋也

## 1 4年連続マイナスとなった実質賃金

厚生労働省が公表した2025年12月の毎月勤労統計によると、現金給与総額(速報値、事業所規模5人以上)は前年比2.4%増と、48か月連続でプラスとなった。一方、実質賃金(速報値)は同0.1%減(消費者物価指数・総合で計算した方式では同0.3%増)と、12か月連続でマイナスとなった(第1図)。25年の実質賃金は前年比1.3%減と、4年連続でマイナスとなった。

消費関連指標では、日本百貨店協会が公表した25年12月の全国百貨店売上高は、前年同月比1.1%減と5か月ぶりにマイナスとなった。中国による自国民への訪日渡航自粛要請の影響などがあり、免税売上(インバウンド)は同17.1%減と2か月連続マイナスとなった。一方、国内売上は宝飾、時計等の高額品が堅調だったこともあり、同0.6%増と5か月連続でプラスとなった。

総務省が公表した25年12月の家計調査は、2人以上世帯の消費支出(実質)は前年同月比

2.6%減と、2か月ぶりにマイナスとなった(第2図)。食料については、同2.4%減と、2か月ぶりのマイナスとなり、魚介類(同9.3%減)や菓子類(同5.3%減)の減少が大きかった。

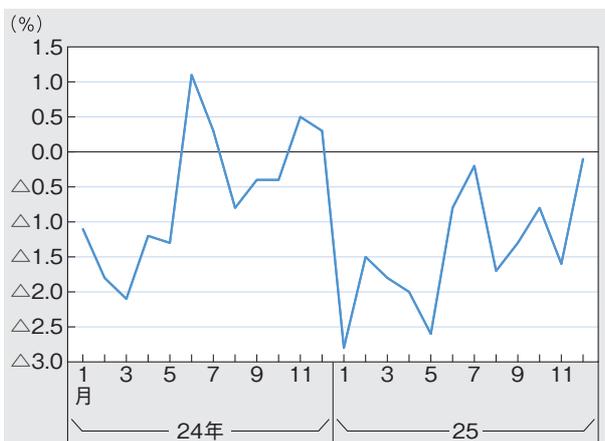
25年平均の2人以上世帯の消費支出(実質)は物価高の影響を受け、前年比0.9%増と、3年ぶりにプラスとなった(食料は同1.2%減と6年連続減少)。食料品価格の高騰が続くなか、エンゲル係数は28.6%と44年ぶりの高水準となった。ただエンゲル係数の上昇は、近年の食料品の値上げの影響もあるが、共働き世帯の増加に伴う中食や外食の増加など、ライフスタイルや食生活の変化の影響も大きい。

## 2 今後の需給動向に注目が集まる米

総務省が公表した25年12月の消費者物価指数(総合)は前年同月比で2.1%上昇した。食料は同5.1%の伸びとなった(第3図)。

第4図は25年12月時点における消費者物価指数(全国、品目別価格指数)のうち、前年同

第1図 実質賃金指数の推移



資料 厚生労働省「毎月勤労統計」前年同月比 25年12月は速報値

第2図 2人以上世帯の消費支出の実質増減率の推移



資料 総務省「家計調査」前年同月比

月比で20%以上上昇した主な食料品目の推移を示している。米では、コシヒカリ(うるち米A)が同34.6%、コシヒカリ以外の米(うるち米B)が同34.3%上昇した。農林水産省が公表した「スーパーでの販売量・価格の推移」によると、26年1月26日の週の平均価格は5kgあたり4,194円と高止まりで推移している。

その一方で米穀安定供給確保支援機構が公表した向こう3か月の需給動向(26年1月分)は、前月比2ポイント減の24と、5か月連続で減少しており、米価格の今後の動向が注目される。飲料ではコーヒー豆が同47.8%の上昇となった。

なお、日銀が発表した25年12月の企業物価指数(速報値)は、前年比で2.4%の上昇となった。

### 3 金融政策等の動き

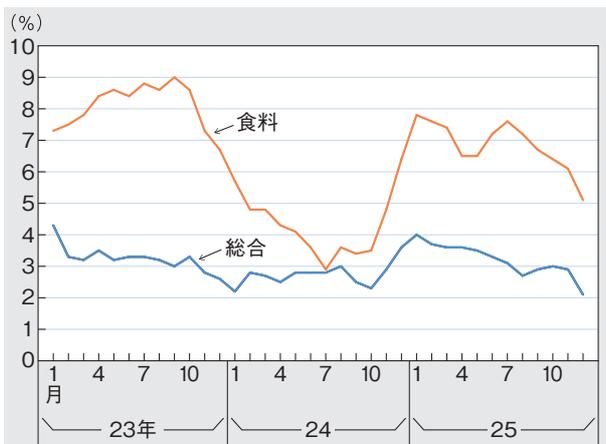
米連邦公開市場委員会(FOMC)は1月28日、政策金利であるフェデラルファンド金利の誘導目標の据え置き(3.5%~3.75%)を決定した(ウォラー理事、ミラン理事が0.25%の引下げを主張し、反対票を投じた)。またトランプ米大統領は1月30日、26年5月に任期を迎えるパウエルFRB議長の後任に、元FRB理事のケビン・ウォーシュ氏を指名すると発表した。

一方、1月23日に開催された日銀金融政策決定会合では、政策金利の誘導目標を0.75%に据え置く決定をした。同日公表された「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)では、25年度10月時点の見通しと比べ、実質GDPの上昇率(政策委員見通しの中央値)を25年度は0.2ポイント(前年比0.7%増→同0.9%増)、26年度は0.3ポイント(同0.7%増→同1.0%増)引き上げた。また消費者物価指数(除く生鮮食品)については、25年度は横ばい(同2.7%増)、26年度は0.1ポイント(同1.8%増→同1.9%増)引き上げた。

2月8日に投開票が行われた衆院選では自民党が圧勝し、定数465議席のうち316議席を確保した(日本維新の会は36議席)。戦後初めて一つの政党が3分の2以上の議席を占めることとなった。自民党は政権公約で「飲食料品を2年間限定で消費税の対象外とする減税策の検討を加速させるほか、社会保険料の負担を見直す」とした。給付付き税額控除の制度設計など、「国民会議」における議論が注目される。

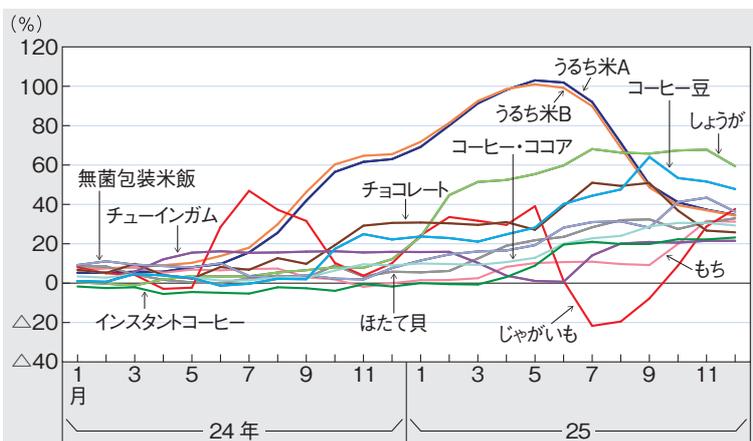
(ふるえ しんや)

第3図 消費者物価指数の推移(全国)



資料 総務省「消費者物価指数」前年同月比

第4図 消費者物価指数の推移(全国、品目別価格指数)



資料 第3図に同じ